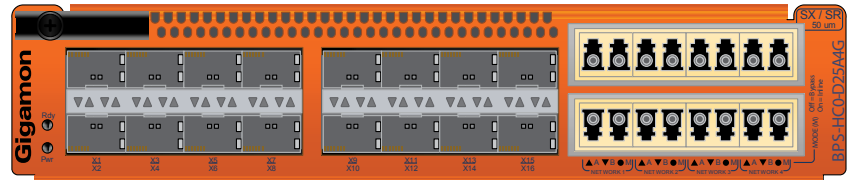


製品概要

HC SERIES GigaBPS



GigaVUE HCシリーズGigaBPSモジュールでは、侵入防止システム（IPS）などのインライン・ツールがバイパスによって保護されます。この革新的なモジュールは、16の標準SFP/SPF+ポート・ケージと4組の専用物理バイパス・ポートを備えているため、トラフィックはインラインのセキュリティ・ゲートを継続的に通過します。

このモジュールでは、以下の2つのバイパス保護が提供されます。

1. 物理バイパス
2. 論理バイパス

物理バイパスでは電力喪失時もネットワーク・トラフィックが維持されます。

論理バイパスでは、ネットワーク・トラフィック中断の原因となるインライン・ツールの障害から保護されます。双方向のハートビートによってインライン・ツールの正常な動作が監視され、接続やハートビートが中断した場合、トラフィックは問題のあるツールをバイパスします。あるいは、ネットワーク・リンクがダウンした際、冗長のネットワーク・パスにトラフィックを転送することもできます。GigaBPSは特にファイバー接続に最適です。銅ケーブル・バイパスには、GigaVUE-HC2銅ケーブルTAPモジュールを提供しています。このモジュールには、バイパス保護に使用する継電器が含まれています。

GigaVUE-HC2ノードは多用途に対応したモジュール形式の設計により、ポート、TAP、バイパス、インテリジェント・パケット・モジュールが中型の2RUのフォーム・ファクタに統合され、他のGigaVUE Hシリーズのノードとクラスタリングして1つの管理ソリューションとして使用できます。GigaBPSモジュールでは、以下をはじめとする多様なインライン・ツールやアウトオブバンド・ツールが提供されます。

- トラフィックの分散：インライン・セキュリティの優れた拡張性により複数のツールにトラフィックを分散して負荷を共有することで、より多くのトラフィック検査が可能
- シリアル・インライン・ツール：複数のセキュリティ・ソリューションを導入し、侵入防止、DDOS保護、マルウェア対策などをバイパスで保護された単一のプラットフォームに統合
- トラフィックのプロファイル：レイヤー2からレイヤー4のルールに基づいて、指定したトラフィックを指定したツールに送信し、トラフィックに最適なツールでアプリケーションとサービスを保護
- 素早い導入：ネットワーク・トラフィックを中断することなくツールの追加、削除、アップグレード。再接続することなくアウトオブバンドの監視からインラインの検査へのツールの即時の切り替え

主な仕様

- ✓ スイッチ（インライン監視が必要な場合はルーター）接続用物理バイパス・ポート・ペアx4含む
- ✓ ネットワーク・ポート、ツール・ポート、スタッキング・ポートまたは論理バイパス・ポート用10Gbポート・ケージx16含む
- ✓ ツールとスループットを保護するハートビート保護

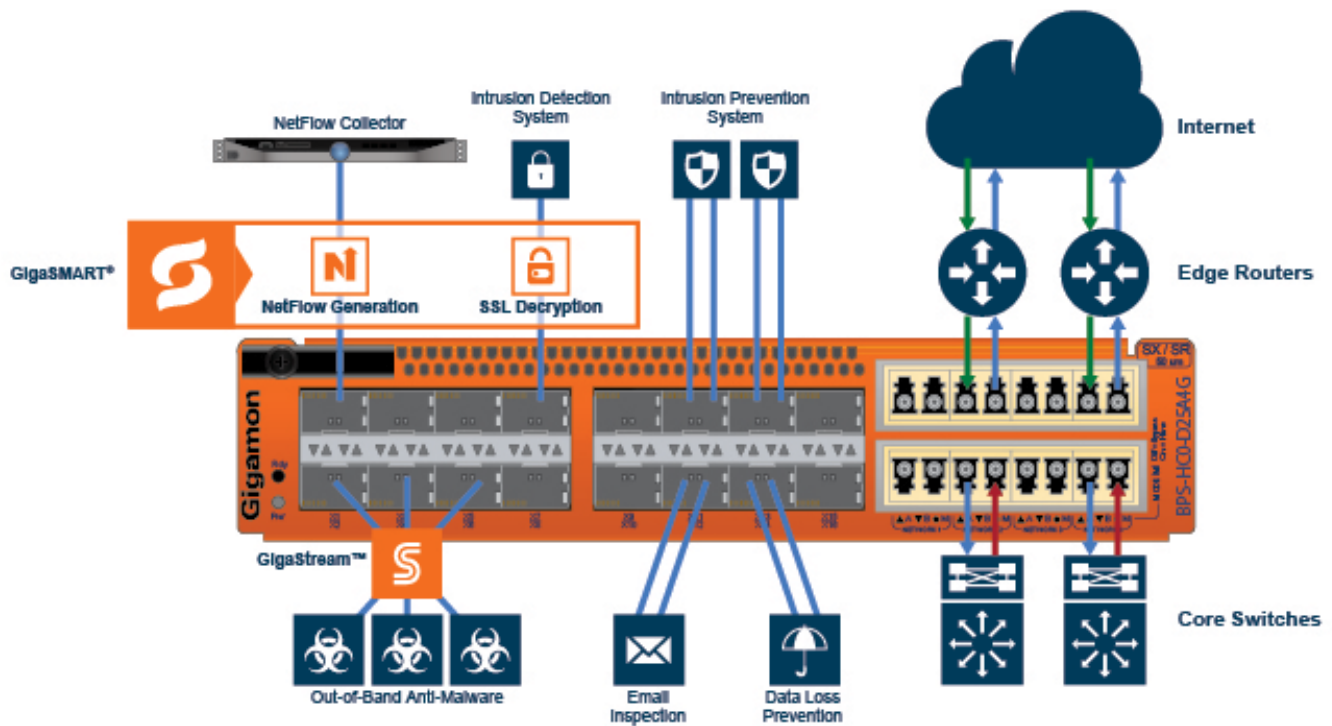


図1:複数層のセキュリティ・アプローチ

機能と特長

- インライン・ツールとアウトオブバンド・ツールの両方に複数層のセキュリティ・システムを提供
- 電源喪失時に物理バイパスによりトラフィックを保護
- インライン・ツールの障害発生時に論理バイパスによりトラフィックを保護
- 拡張性、効率、オンライン・ツールの効果の向上
- 迅速に導入できることによりメンテナンス・ウィンドウを排除
- 1Gbと10Gbファイバーの帯域をサポート

使用事例

- 複数のネットワーク・パスを保護する複数層のセキュリティ導入
- ネットワーク全体のトラフィックを検査するゼロトラストのセキュリティ環境
- データ量がインスペクション・ツールのスループットを超えるネットワーク
- 専用のセキュリティ・ツールを使用するアプリケーションが混在する環境